

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|----------------|-----------------|----------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 545,071 | 流動負債 | 185,704 |
| 現金及び預金 | 431,640 | 短期借入金 | 60,000 |
| 売掛金 | 216 | 一年以内返済予定長期借入金 | 19,298 |
| 商品 | 204 | 一年以内償還予定社債 | 20,000 |
| オークション未収入金 | 87,661 | オークション未払金 | 228 |
| 未収入金 | 5,244 | 未払金 | 22,614 |
| 前払費用 | 14,404 | 未払費用 | 11,433 |
| 繰延税金資産 | 5,639 | 未払法人税等 | 26,833 |
| その他流動資産 | 60 | 未払消費税等 | 12,189 |
| | | 賞与引当金 | 10,776 |
| | | その他流動負債 | 2,331 |
| 固定資産 | 325,527 | 固定負債 | 151,430 |
| 有形固定資産 | 71,210 | 長期借入金 | 21,460 |
| 建物 | 58,669 | 社債 | 20,000 |
| 構築物 | 7,993 | 預り保証金 | 65,220 |
| 車両及び運搬器具 | 3,504 | 長期預り金 | 36,237 |
| 工具器具及び備品 | 1,043 | 資産除去債務 | 8,513 |
| 無形固定資産 | 10,738 | 負債合計 | 337,135 |
| ソフトウェア | 10,738 | (純資産の部) | |
| 投資その他の資産 | 243,578 | 株主資本 | 531,103 |
| 投資有価証券 | 8,400 | 資本金 | 212,800 |
| 関係会社株式 | 61,537 | 資本剰余金 | 202,800 |
| 差入保証金 | 18,751 | 資本準備金 | 202,800 |
| 建設協力金 | 20,518 | 利益剰余金 | 115,503 |
| 繰延税金資産 | 130,367 | その他の利益剰余金 | 115,503 |
| 長期貸付金 | 399,755 | 繰越利益剰余金 | 115,503 |
| 貸倒引当金 | △395,752 | (当期純利益) | (43,039) |
| | | 評価・換算差額等 | 2,360 |
| | | 有価証券評価差額金 | 2,360 |
| | | 純資産合計 | 533,463 |
| 資産合計 | 870,598 | 負債・純資産合計 | 870,598 |

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法・・・個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・定率法。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|----------|-------|
| 建物 | 8～10年 |
| 構築物 | 10年 |
| 車輛及び運搬器具 | 2～5年 |
| 工具器具及び備品 | 4～8年 |

②無形固定資産・・・定額法

ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、以下の方法により計上しております。

- ・一般債権 貸倒実績率法
- ・貸倒懸念債権および破産更生債権等 財務内容評価法

②賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額を期間に応じて計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜き方式を採用しております。

2. その他の注記

決算期変更の注記

当社は親会社である株式会社ユー・エス・エスと決算期を統一するため、平成27年11月30日開催の臨時株主総会において定款一部変更を決議し、平成28年1月以後に開始する事業年度の決算日を12月31日から3月31日に変更しています。よって、当事業年度は平成28年1月1日から平成28年3月31日までの3ヵ月となっています。